

夢を海外でかなえる

## カナダでバレエ教師

島村星羅様

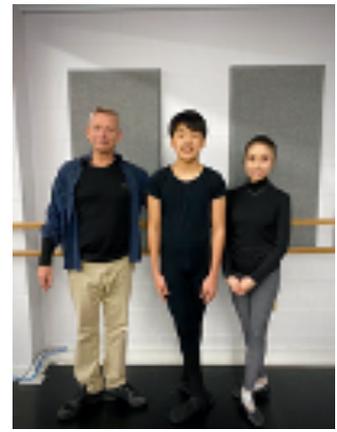
2016年カナダロイヤルウィニペグバレエスクール教師養成プログラム卒業後、バンクーバー郊外のフレーザーバレエアカデミーオブダンスで教師として勤務



島村星羅様



カーニーディレクターご夫婦と



石井清志郎君  
小学6年生の時から留学中



## 五歳の時から夢だった

# バレエ教師

二〇一六年カナダロイヤルウィニペグバレエ  
スクール教師養成プログラム卒業

島村星羅



大阪芸術大学に通っていた私は、大学在学中から夢であったバレエのインストラクターの資格取るために、以前通っていたバレエスクールの先輩の紹介で、アドミッシン留学センターを訪れました。現役の頃、大学卒業公演と忙しくしていた私はオーディションツアーに参加する事ができず、ビデオオーディションを送る事になりました。一次審査を無事に合格し、卒業後二次試験を現地に受けに行きました。英語も苦手だった私は二次試験を受ける数ヶ月前に英語の勉強の為にブリティッシュコロンビアの、バンクーバーに留学しました。一人で外国に出た事のなかった私は最初の1ヶ月半、毎日ホームシックとの戦いでした。ある程度バンクーバー生活にも慣れ、少しずつブリティッシュコロンビアが好きになり、この都市でいつかバレエのインストラクターになりたいと思うようになりました。バンクーバーの生活も終わり、二次試験を受けにウィニペグに行きました。ティチャーズトレーニングプログラムは3週間と言っ短期間のオーディションプログラムで、日本では習った事のなかったダンサーの音楽性、また生徒一人一人の身体に合ったトレーニングの仕方。初心者の為のトウシューズのトレーニングなど、バレエのクラス以外にも初めての事だらけでとても興味深いものがありました。英語に慣れてない私は他の生徒についていくので精一杯でしたが、これが慣れて来たらどんなに教師にとって大切な物なのかと、私は絶対合格してもっと詳しく学びたい、知識のあるいい先生になりたいと思いました。



無事にロイヤルウィニペグバレエスクールティーチャートレーニングプログラムに合格し9月から3年間のコースに入学しました。クラスは朝の8時半からプロフェッショナルの生徒と共にロシアのメソッドのクラス、トウシューズのクラス、キャラクタークラス、モダンダンスのクラスを受け、昼からはティーチャートレーニングプログラムの生徒のみでチケットイメソッドのバレエのクラス、ジャズ、モダン、音楽、解剖学の、クラスがあり終わるのは日によって違います。1時半から5時まで。その後はリクエシヨナルのクラスのアシスタントです。リクエシヨナルのアシスタントのクラスもとても勉強になりました。午前中はプロの生徒を見ることができ、午後は習い事で楽しんでバレエをやっている子達の指導を見ることが出来ます。帰っては次の日の宿題。ティーチャートレーニングプログラムは3年間の間毎年四月にやってくる試験を合格しなければ卒業する事



ができないという厳しいコースでした。二回生までは踊りのみの試験をクラスメイトと私そして試験監督。三回生では踊りそして自分のクラスのプレゼンテーション、対話の三つの課題の試験を私一人と二人の試験監督との間で行われました。6年間名一杯の日々を過ごしたのを覚えています。私は楽しい事より辛い事が沢山ありました。何度ものなんでも日本に帰りたくなることも沢山ありました。でも。クラスメイトと励み合い、頑張ったのを覚えています。忙しい中でも週末時間を作り、みんなで映画を見たり宿題の事は忘れてパーティーを開いたりする事もありました。3年生の春休み、ブリティッシュコロンビアでバレエのインストラクターをしたいと思っていた私は事前にバレエスクールを色々探

し、自分に合うのではと思うバレエスクールに先生のポジションを探しているとメールを送り、オーディションに行きました。オーディションの前も、クラスメイトに生徒になって貰い、学校の授業の後にスタジオを探して何度も何度も練習したのを覚えています。幸いに、初めてオーディションに訪れたフレーザーバレエアカデミーのディレクターに気に入ってもらえる事ができて、卒業後の9月から雇ってもらえる事が決まりました。卒業して、就職が決まらなかったら私は日本に帰らないと行けないと言うプレッシャーもあった為、本当に嬉しくて両親に泣いて電話したのを覚えています。

そして、今では沢山の可愛い生徒の元で毎日趣味であるバレエを通してお仕事させて戴いています。幼稚園の時から念願だったバレエの先生になる言葉また、他国、カナダでバレエのインストラクターとして働き、毎年スタジオのサマースクールには何人かの日本人生徒さんをアドミッション留学センターさんから迎えています。

また、この様な幸せな経験を主に2019年夏、アルバータ州にあるカナダの有名校 Alberta Ballet School 先生の為の1週間講習会に、通訳としてお仕事をさせて頂きました。その1週間では、日本から来られている経験豊富な先生方のお手伝い。 Alberta Ballet School の素晴らしい先生方の横に立ち指導を見学しながら通訳をさせて頂きました。日本を離れて7年になる私は日本のバレエ界を忘れつつありま

したがこの様な機会を頂き。日本の先生達との交流、またそれぞれの意見や思考を聞けることが出来とてもいい勉強になりました。そして何より、世界で有名な Alberta Ballet School の先生方が一人一人違った体型、性格の生徒さんに熱心に指導をしているのを目の前に勉強させてもらう事ができ、一週間という短い期間でしたが、濃い経験をさせて貰えた事を心から嬉しく思います。

今の私が存在するのも、この様に大好きな踊りを仕事とし、生活してさせて頂けている事は、大学の時にアドミッション留学センターさんに訪れた事、アドミッション留学センターさんに支えていただいた事、そして周りの支えてくれた家族、友達、またロイヤルウイニペグバレエで辛かった時諦めなかった自分が居たからだと思います。

Alberta Ballet School でお会いすることが出来た、Murray Kigour 先生が、講習会に参加していた先生達に言っていた言葉が凄く心に響いたのを覚えています。 I never stop learning so please don't stop learning (私は学ぶ事を辞めません、なので皆さんも学ぶ事を辞めないで。) この言葉を常に心におきこの先、日本に帰ってバレエを教えることになるのか、これから海外で働き続けるのかはわかりませんが、まだまだ、これからも色々な経験を積みどんどん上を目指してバレエと言う美しい芸術を一人一人の生徒に好きになってもらえる様。どこに行っても認めてもらえる先生に慣れる様に、頑張りたいと思います。